

(清水町) 清水ミライ自分ごと化会議 議事メモ

全体コーディネーター	伊藤 伸
説明担当者	清水町観光協会長 只野 敏彦 社会福祉法人清水町社会福祉協議会コーディネーター 脇原 康誠 株式会社谷口運輸代表取締役 谷口 弘幸
日時	令和元年12月1日(日) 14時00分から17時00分まで
場所	清水町ハーモニープラザ(清水町本通1丁目1-2)
その他	グループコーディネーター 香田裕一(十勝の未来を考える自治体職員の会:幕別町職) 藤谷満伸(同上:大樹町職) 渡辺浩二(同上:芽室町職) 参加者数 29名 欠席者数 22名 傍聴者数(町民) 1名、(町外) 1名、(報道) 0名 事務局 前田 真(企画課長)、川口二郎(企画課長補佐)、 田村幸紀(企画課政策企画係長)、中澤優人(企画課政策企画係主事補)

趣旨・概要

第3回目のテーマは「立地・交通アクセス」

- (1) 交通の要衝であるというが、その利点の活かし方は何か。交通網が良くても何もなければ通過されるだけ。そもそも立地・交通アクセスの利点とは何で、道東の玄関口と言われる所以は何かも合わせて考える。
- (2) 交通弱者への対策は十分か。路線バス等がない中、町民の足を確保する交通網を形成するために必要なことは何か。
- (3) 道央網や道内主要都市へのアクセスの良さが物流や、通勤通学などの人や企業にとって利便性の良さが強みになっている。その強みを利用して何ができるのかを考える。

オブザーバーを交えて3つの分科会でグループ討議を行った。その後の全体会でグループ毎の発表を受け、全体コーディネーターがまとめて意見を共有した。

自分ごと化会議の進め方

コ: 第1回のテーマは「食と農業」。第2回は「文化・スポーツ」、そして今回は「交通や立地」に関することを議論していただきます。毎回変わるテーマについてこの場で結論を出すというわけではなく、皆さんの議論の中で自分に何ができるのか、地域で何ができるのか、行政

でなにができるのかを考えていただき、改善提案シートに記載していただくことで、来年1年かけて作られる清水町の10年間の計画を作る材料となります。皆さんには計画が策定された際には自分たちの意見がどういった形で反映しているか是非確認していただけたらと思います。

コ（各班の議論の切り口を提案）

・第1班「道東の玄関口の活かし方」について

→道内主都市から十勝地方に入るのに一番条件が良いのは清水町という意見が多かったということで、今後どう活かしていくのか。

・第2班「町内(福祉系)交通の利便性の弱み」について

→町内における、コミュニティバスやタクシーなどの公共交通についての利便性や改善点はなにか。

・第3班「町外(観光、企業等)交通の利便性と弱み」について

→普段は町外に行くのには車を運転して行くところを、車を使わずに町外へ出るとしたときの公共交通の利便性や改善点はなにか。

(各班に分かれて議論開始)

ワークショップ（協議）

第1班

ファシリテーター：ファ（幕別町役場）

オブザーバー：只野敏彦（清水町観光協会長）

委員：13名

ファ：今日のテーマ「道東の玄関口としての活かし方」ですが、切り口は外から見た清水町という部分だと思います。清水町が玄関口と言われるのは高速道路ICがあり、さらには特急が停まるJR駅があることが大きいと思います。交通アクセスが良いが活かしきれてないという意見がアンケートで多かったので、活用方法のことも話せればと思います。観光協会としてなにありますか。

オブ：清水公園は昔から「四景+1」として清水町観光拠点とされ、ICが完成後は高速道路利用者も集まる拠点となると考えていて、昔からどう活用していくのかは議論されてきましたが結果を残すことが出来ないまま現在に至ります。今年からは新たに清水公園再整備検討委員会を実施しています。清水公園を観光拠点として根付かせるためにもイベントを実施して人を呼ぶために今年の8月には「清水公園フェスティバル」を開催し、想定よりも若い年代の方々に来てもらうことができましたし、おそらく半分が町外の方だと思っています。イベントを実施して部分的に人を呼び込むことができても恒常的に人を呼び込めていないので、夏場に実施している軽トラ市を常設できるかを検討しています。観光協会としては清水公園に人を呼び込むことに加え、千年の森を活用することを第一として活動しています。

ファ：清水公園の活用方法としては、イベントを中心に考えているのか、情報発信基地として

の活用を考えているのか。

オブ：サルビアには情報発信基地としての役割をお願いしており、サルビア自体は現在好評だと聞いていますが、そこから清水公園で遊ぶことや町内に立ち寄ることに繋がっていないのが課題と感じています。

メ①：清水公園は季節によっては桜も梅もあるが活かしきれていない。人が集まっていれば他の人の気になって集まってくるが、国道を通っても人が集まっていることなんてないから人は来ない。

メ②：自分の子どもが小さいときには清水公園を使って他の母親たちと交流していたが、今は共働きが増えてきて幼稚園・保育所に子どもを預けることが多くなってくると尚更行かないのかと思います。

メ①：今は公園内の橋が壊れていることもあって尚更人が行かないかもしれない。

メ②：引越してすぐは自然を満喫しようと思って動いていたが熊が出るということで中々動けなかったことを思い出しました。

メ③：清水公園の自然やゴルフ場にある季節ごとの良い部分を活かしてPRしたほうが良いと思う。(冬のゴルフ場の活用、桜や紅葉の景色活用等)

メ②：以前に、子どもたちにデジカメを渡して写真絵本を作る機会がありました。子どもたちは雪の中を歩くことも楽しそうにしていたし、撮影が終わった後は温まる場所で食事をとりました。清水町の景色を季節ごとに写真を撮る催しも面白いかもしれません。

メ③：撮った写真をJRの車両内に飾ってもらうと面白いかもしれない。

メ④：星座を見る会のようなものはありますか。

オブ：千年の森で似た催しの話聞いたことがあるが詳細については把握していません。

メ④：天気によって左右されるところはありますが、キレイな星空を子どもや大人関係なく観賞するというのも良い思い出になると思います。

メ③：勝毎花火大会の帰りに寄ってキレイな星空を見ることもPRのチャンスかもしれない。

ファ：道東の玄関口として活かすことや情報発信することで確実に出てくるのは道の駅の話だと思いますが、清水町民の皆さんはどうお考えですか。

メ③：要望としては出てくると思う。

ファ：道の駅は情報発信手段の1つではありますが、それだけで良いというわけではないと思いますし、十勝管内でJRの駅がある町村で道の駅がある地域も少ないことは事実です。

メ②：商売だから清水公園に常にいることと難しいと思いますし、むしろ軽トラ市のように移動できる販売所を残しつつ、PRの仕方によっては清水らしさに繋がると思います。

メ⑤：他の町でスマホカメラを使って町内のおススメスポット回って写真を撮影してそれをSNSにアップしてもらうというイベントがありました。これを清水町でも実施できると清水の四季の良さもPRできるし、家族向けイベントにもなるかと思います。自分の手元にあるものを使って発信してくれる方を募集してイベントにすると面白いと思いました。

メ⑥：スマホ限定にした方が参加する側のハードルが下がるから良いと思う。

メ②：自分もそうですが、そこでイベントをしているからといって写真を撮りには行かないですよ。

メ⑤：競うのではなく、町民全体でどのくらいの数の「いいね」を集めたかを集計すると面白い。

メ①：旭川、札幌、千歳それぞれおおよそ同じ時間で行くことが出来ることは立地が良い証拠だと思います。

ファ：清水町のイメージとしては交通の便はいいけど、泊まる場所がないイメージですね。

オブ：観光業を考える上で、交流人口増加だけを目的とした政策は発展には繋がらないので、宿泊施設を整備した中でビジョンを明確にすることが必要になることは、町長も観光協会も理解はしていますが、厳しい部分があると思っています。ですが、宿泊施設を視野に入れた、滞在型の観光をしていかなければと考えています。

ファ：滞在しないとお金は落ちませんからね。千年の森が高級ホテルのような立場になると面白いかもしれないですね。

オ：千年の森さんもホテルを視野に入れたことはあったみたいですが、採算のことを考えて踏み込めなかったみたいですね。

メ⑥：最近では車中泊が流行っているが、車を止められる場所がないという話も聞いたことがあります。清水公園は交通量も多いし使い勝手がいいのではないのでしょうか。

オブ：清水公園をオートキャンプ場にする話もありましたが、一体的に整備するととなると敷地的に無理があると思います。

ファ：忠類の道の駅にはキャンプ場がついており、毎年多くのキャンピングカーが停まっていますが、そこ泊まるためだけに利用し、その後は他の観光地へ行ってしまいます。

メ⑥：芽室公園でBBQをやっている人は数多くいる、清水や御影の公園ではそれが無い、またやっていいかどうか分からない。

メ①：見た目は勝手にやっていいのか躊躇しますね。

メ④：風車のところにアスレチックや小動物と触れ合える環境等があると他町から子育て世帯が来てくれるのかなと思っています。冬場は除雪した雪を集めて子どもたちが遊べるようなところになったら面白いと思います。

メ⑥：自分が子育てしているときは清水公園と芽室公園にしょっちゅう行っていたので需要はあると思います。

ファ：子どもが冬に遊べる場所って少ないですよ。高速道路に道の駅があり施設内に遊具がある場所や釧路の屋内砂場があるようなところはかなり人が集まるみたいですよ。

メ①：帯広や芽室の公園は常に人がいてBBQをしているから、イメージとしてやっていい場所のイメージがあるが、清水についてはそのイメージがない。さらには有明公園でBBQが出来るならかなり良いと思うが使えない。もったいない。メ⑤：その話は良く聞く。自分の娘が芽室の学校に通っていたが、その同級生の親から聞いた話だと、スケートが出来るアリーナは帯広か清水にしかないから、親の時間が送迎に取られるっていう話は良く聞いた。

ファ：せっかく清水町は「肉の町」なのにもったいないかもしれないですね。そこならいつでも焼肉やって良いというような場所を作ってもいいかもしれませんね。

メ①：帯広の公園では、公園の前にある店で低価格でBBQをするのに必要な道具を貸してくれる。そういった店があるともっと手軽に出来る。しかし、清水公園は立地的にも墓地が隣にあるという欠点がある。

メ⑦：普段から柵等があつて見えなければ良いが、あそこは夜になつても見えてしまうので、気味悪がる人は絶対いる。

メ③：会議の名前にもあるが、若い世代の生活がミライに充実するにはどうしたらいいのかを我々世代が考え、基礎を作つてあげることが重要なのではないかと感じています。これを基本として、清水公園、サルビア、パークゴルフ場、千年の森等について若い世代のためにはどうしたらいいのかを考え、情報発信をはじめとして工夫が必要になる。

メ⑧：世代は関係なく、現状として必要なのは清水町に住んでいる人達全体が清水町を住みよくするには自分に何が出来るのかを考える基礎作りが必要な段階だと思うので、清水公園の話であれば、皆さんから色々な意見が出てきている若い世代から高齢の世代までが交流できる環境になるにはどうしたらいいかを考えていかなきゃいけないと思います。

ファ：高齢者が増加して若者が減ることは目に見えているが、だからといって若い世代を中心にする訳にもいかないのが、このバランスが難しい。「道東の玄関口の活かし方」としても現状の課題「清水公園の活かし方」、「町内での焼き肉出来る場所」などが話で出てきていました。強みでは「高速道路が2本通っている」ことを活かすためにまずは宿泊施設の問題があります。皆さん、買い物等は どうしていますか。

メ①：だいたいの方は帯広に行くことが多いと思いますが、清水町内でも買い物します。清水の良い所は、商店、病院がしっかりしていて、交通の便が良いので生活には不自由ないと思います。

ファ：先ほど駅前を見てきましたが、日曜だからなのかシャッターが閉まっている商店が多いと感じました。これは、曜日の関係ではなくそういった大きなスーパー等が関係しているのでしょうか。

メ①：個人商店はもうほとんどないに近いと思います。

メ⑦：逆に大手企業が揃いすぎているのかもしれない。

目②：今まで出てきた具体的な内容の中で、実際にお金を必要としなくても出来る事がいくつかあると思うので、実際にやってみることで清水町の春夏秋冬を楽しんでもらえるきっかけになることがあると思う。間違つた情報を発信するわけにはいかないから、実際にやってみた結果をデータとして積み上げて、PRできる内容であればそれを発信するほうが良いと思う。そういったことをやっていることで他の人に頼りきりの意識が少しずつ変化していくのかもしれない。

メ⑦：今の段階だとそういった自分で行動に移していいかもわからない状況だから、ここは行政公認でやって良いと言ってくれるとこちらとしてもやりやすい。

メ⑥：個人的には、子どもがいなくなったので、家の空いている部屋を使って民泊をしてみたいと考えているが、実際にやってみるとなると法律等、一般の人からは難しい内容の話になってくるので行政のバックアップがあったら良いと思っています。そうすると宿泊場所も増えるし、やっている側は収入になるので良いことしかない。

メ⑦：トマムの従業員がバスに乗っていちまるに買い物に来るところをみると、清水町を拠点にしたいと思っている従業員もいると思う。ターゲットは多いと思う。

メ⑧：今町内にある宿泊施設はビジネスホテルしかないんですか。

オブ：ビジネスホテルや旅館が4つほど、あとはペンションがちらほらですかね。

ファ：今回のテーマだと道の駅の話になると思っていました。

メ③：前回の議会の際に町長が直々に否定されていましたが、清水町の職や観光の情報を発信できることは間違いない。清水町の立地であれば近隣町村を巻き込めると思います。

ファ：一箇所に集中してしまうとそこにしか来なくなるので、全部を集めれば良いという訳ではないですね。

メ①：利益が出ない限りは無駄になってしまう。管内でも上手くいっているのは一箇所しかない気がする。あれば良いと思うけど、駄目だったときを考えると厳しい気がする。

メ②：バスガイドの話聞いたことがあり、他の地域の道の駅を見ても、交通の便が良い所は人が集まっていて良く使われているが、そうでない道の駅はどうか目立つための工夫をして最初は目につくけれども、素通りすることのほうが多いと聞いた。これを考えると高速道路が通っていることは利点だと思いますけどね。

メ⑤：サービスエリアは清水町でないのですね。

メ③：他の地域にある道の駅は国道から1本中に入らなければならない所が多いと思います。でも清水町で考えると、風車の土地等は国道沿いだからもっと良いと思いますよ。

メ⑦：利用者の割合だと半分くらいはトラックの運転手な気はするが、観光もする人はいると思うから、作って損はしないと思う。

メ③：見て感じる部分だと、国道を通っている車の中では狩勝峠に向かっている車は少ないと感じていますが、交通量は調査していますか？

ファ：I Cの数字で見てもかなり多くに通行量なので、少なくともこの数は国道に流れていると思います。

メ②：なつぞらで清水町の何度か放送されていましたが、やはり風景等を見る人達は着ているのでしょうか。

オブ：清水町でロケ地となった場所は町営牧場の中や、千年の森の中となっています。私有地等に関係上行きづらいということもあり、訪れた人の数を把握は出来ていません。ですが、観光客の皆さんも一生懸命探してロケ地に来ていると観光協会としては考えています。

メ③：空港の十勝にある町村のパンフレットを見ると、「〇〇のまち〇〇町」というものがよくあるが、清水町にはない。町民は「第九」や「アイスホッケー」といっているがパンフレットにも書いていないのであれば他の地域の人にはわからない。清水町が目的になるような情報を

発信しなければならない。清水高校といえばパンやスイーツなどで優秀な成績を収めているから、そういった高校生のイベントについてもPRしたらいいのではないかな。せっかく乳製品も多いのに。

メ⑦：乳製品のまちというよりは肉の町になっている気がしますね。生乳が多くは取れているけれども。イベントも肉がメインに感じるものが多い。

メ③：イベントの周知方法については、どういったようにしているのか。また、JR等を使って札幌駅にポスターを置いているのか。

事：町内外の新聞折込で周知しています。JRとの協力はしていないと思います。

メ①：新得町のそば祭については札幌からバスが来ているが清水町のイベントはどうなっていますか。

事：肉井まつりについては一年目から旅行会社と協力してやっています。

メ①：実際にバスに乗ってくる人達も割合は全体のどの程度なのでしょう。

事：おおよそ全体に1%ほどと考えています。

メ②：イベント開催するにしても、情報を発信するのが遅いと思う。もっと発信方法を工夫した上で、定期的に発信したほうが多くの人目に留まると思います。現代だとSNS等の活用が必要になってくるかと感じます。その中で、先ほども出たが、町の公式ツイッターでリツイートするだけで信じる事が出来る。

事：只野さん清水町は立地と交通アクセスが良いことを商売人としてはどうお考えですか。

オブ：交通アクセスが良いといっても道路を通るだけなので、街中までは来ないことが多い。なので、立地などのおかげで商売が上手くいってはいない。特に高速道路が出来たことでさらにお客さんは減ってしまっている。やはり、宿泊施設があれば周辺の飲食店は潤うので、町内で商売を営んでいる人からすると、宿泊施設があると儲けることは確かだと思います。高速道路についても出来る前のほうがお客さんはいました。しかし、出来てしまったものについては仕方がないので、清水町で降りることのできる事が出来るメリットを発信することをやっていきたいと考えているところです。また、観光協会の事務局を現在は役場職員がしているが、本音を言うと我々にやらせて欲しいと思っています。

第2班

ファシリテーター：藤谷満伸（大樹町役場）

オブザーバー：脇原 康誠（清水町社会福祉協議会コーディネーター）

委員：8人

ファ～清水町は町外に出る方法が多くあり、自分が住んでいる大樹町と比べてもかなり便利だと感じています。その中で、第2班については町内の交通を議論して行きたいと思います。現在は皆さん運転免許があると思いますが、今後免許を返納したときに町内の公共交通は便利なものなのか、また便利にするには何が必要なのかを頭の片隅において進めて行きたいと思いません。

【現時点での町内公共交通に関する意見】

メ①：町外に出ることに関して利便性はとてもあるが、これは自分で車を運転して行くことが基本にある。これまでこれが普通の中で生活してきたから、実際に免許返納したあとのことを今すぐ考えることは難しい。

メ②：町外に行く手段として、国道や高速道路が通っていて、JRも利用できるから利便性があることは把握しているが、町内を走っているコミュニティバスや買い物・銀行バスの情報は入ってこないなので説明していただきたいです。

【オブザーバーより買い物・銀行バス事業について資料をもとに説明】

メ③：年齢の制限はあるが、障害がある方についてはどういった対応なのか。

オブ：申請書等の提出時に医師を含めて協議し、柔軟に対応できるようにしていき、母子家庭の方も対象としていきたい。

メ④：予約型タクシーをやめて買い物・銀行バスを開始したが、関連性がわからないので説明していただきたい。

オブ：社会福祉協議会での独自調査の結果として出てきた地域のニーズに対応するためには町内のタクシー業者や町の事業、さらには道路運送法との兼ね合いが出てくることもありましたので、役場企画課の職員と相談して実施することになりました。

ファ：今まであったコミュニティバス事業を社会福祉協議会に委託しているのか。

オブ：コミュニティバスは町の事業として今も運行しています。今年度から買い物・銀行バスが運行開始し、予約型タクシー事業がなくなりました。社協のバスについては公共施設等にはいけないので、目的に合わせて町のバスと社協のバスを使い分ける形式となっています。他にも高齢者や免許返納者に対しては町からタクシー券の補助があるので、タクシーも活用できます。

メ⑤：現在は社協のバスが無料運行としているが今後どうして行くのかを考えなければならない。また、高齢者の買い物については、本人がいけなくても家族や近所の人が変わりに行くことも考えられる。

オブ：もちろんそういった方々がいることも間違いないと思いますが、やはり自分の目で見て食材を買いたいという農村部の方々も少なくありません。

メ⑥：外に出てくることだけでなく、移動販売という手段もあると思いますがそういったニーズはなかったのか。

オブ：そういったニーズもありましたが、それよりも多かった意見として目的地まで歩くことに対して不安や心配という声が多かったです。なので、移動販売を実施するとなったときに一軒一軒の玄関まで行くことができれば可能となりますが、現実的に難しいということで今回のバス運行となりました。

メ④：今回から始まったバスの事業は非常に便利なシステムになると思う。現在は目的地が限定されている部分が唯一不便を感じるころだ。役場や病院の需要が高いことが予想されるが実際に要望は出てきているのか。

オブ：要望はありますが、車両のことや運転手の確保等の課題であると考えています。

メ③：コミュニティバスの停留所がわからない。わからないから利用に繋がらないという人も多いと思う。時刻表の裏などの地図があるが見つらい気がする。また、清水帯広線バスは一日に1往復しか運行していない。これは帯広の病院に行きたい高齢者の人にとっては不便だと感じる。

メ⑤：清水町が実施していないものでも病院に行くためのバスが運行している。

事：帯広の開西病院付近の病院が運行している。

メ①：そういったバスが走っているのはありがたいが、どうやって乗るのがわからない。

メ③：自分が高齢になった時のことを考えると町内の病院だけでは足りないと思う。しかし、帯広の病院に行くにしても手段が少ない。既存の手段を活用するにしてもJRを利用するにはホームに行くのに階段を上らないといけなくなる。足腰が弱くなってくるとあの階段はつらい。

メ②：社協のバスはニーズを捉えていてとてもいいもの。コミュニティバスについても町外の病院に行くような形にはできないか。

事：制度上は町村をまたいでコミュニティバスを運行することはできますが、国からの補助金を受けること考えると町内だけの運行にする必要があり、なおかつ乗車数が5人以上という条件もあります。

メ④：コミュニティバスのこれ以上の要素を加えるとパンクする。利便性と経済性の両立が必要となるものだと感じるので、スマホ等の活用しニーズを確認できるシステムを構築するのか、町のタクシー会社の存続も考えタクシー利用に対する補助にするほうが効率的になる可能性もあると思う。

ファ：大樹町では自動運転車両の導入に着手しているが、実用的になるにはまだ時間が掛かる。また、運転手に関しては現在16人いますが30年後には2人になると予想している。運転手が減少することも課題となっている。タクシー利用補助も実施しているが、利用する距離によって差が出るため地区ごとに定額にできないか検討しています。

メ⑥：手元に貰った資料を見て総合的に町内公共交通サービスが多いと思うが、これをひと目で確認できるものがあれば良いと思う。

メ⑤：今ある公営住宅の街中に集約して地域住民との共生社会を構築することで、公共交通も運転手を登録制にして活用できる。運転手でなくても近所の人による買い物代行でも良いと思う。

ファ：地域によってはカーシェアリングや、白タクなど個人レベルでやっている農村部もある。しかし、事故などのことを考えると頼む側も頼みづらいと聞いた。

メ①：個人対応のことを考えるのであれば冬場の交通安全がネックになる。町内で75歳以上の人が自由に移動するにはコミバスなどを利用するしかないと思う。自分で車を運転できれば問題はないが、そういったことを考えていると免許返納がおくれ事故を起こす人が増えるかもしれない。

メ③：タクシー券は町内の高齢者に配布されているが、人によって利用頻度が多く不足している人や、逆に頻度が少なくあまっている人もいると思う。その実績を確認するともっと制度の無駄も少なくなると思う。

メ⑥：高齢者学級の移動手段は自家用車で来ている方が大半だと思いますが、そこでコミバスを活用することで高齢者同士の繋がりも深まり共生社会へ繋がる。

メ④：社協の事業を実施する前にちゃんと地域のニーズ聞き取りをしていると感じましたが、コミバス運行の際にはどういったニーズがあったのか。現時点でどういった地域のどういった人達が使いつらいと感じているのかの把握をしているのか。

メ②今のコミバスは効率が悪いのはわかりきっている。もっと使ってもらえることを考えると今の買い物銀行バスのように無料運行をした方が使ってもらえるのではないかな。

オブ：社協のバスも現在は試験運行ということもあり無料としていますが、ゆくゆくは100円ほどの負担をお願いして行きたい。目的地の充実を図るのであればなおさら。

メ②：是非無料運行は継続して欲しい。

オブ：我々だけの意見でなく、利用者の方々から無料は申し訳ないといった意見をいただいている。

メ②：もっと利用者を増やして、マイクロバスとワゴン車での活用が良い。清水町には各団体があるからそこにバスの運行を使ってもらい、買い物もできるような形があったらいい。

オブ：今後この2つのバスのあり方について、我々も町と相談しているところではありますが、どう思いますか。

メ②：コミバスの利用者がこのまま少ないのであれば改善が必要だと感じる。思い切って帯広の病院へ走ってもらうことを視野に入れる。

メ⑥：実際に車を持っている人でもバスを利用する人はいる。その人達が使おうとしたときに「どこで乗るのか」、「お金はいつ払うのか」などわからないことが多いと感じる。

メ④：コミバスを運営するのにバスを何台使っていて、年間費用はどれ位なのか。

事：コミバスは1台で運行している。

メ②：1台のバスで現在の利用者数のままいくと、一人あたりに掛かる経費が10万円以上となっていることになる。これは誰が考えても無駄になっているとおもうから、今掛かっている経費分を活用してタクシー券や他の事業に使うことができると思う。

ファ：買い物・銀行バスの実際にルートや登録者の平均年齢はそれ位か。

オブ：ルートは予約があった人達の家によって毎回変わる。しかし今の運転手が町内の方ということもあり、極力最短のルートをその都度考えている。年齢層はだいたい80代となっている。中には運転免許を持っているが冬場の運転が心配ということで利用している方もいる。対象年齢は増やしたほうが良いと思うかも是非伺いたいと思います。

メ②高齢者福祉の観点で進めたほうが良いと思います。

メ④年齢で切ってしまうと障がいをお持ちの方が対象から外れてしまう可能性があるため、年齢で決めないほうが良いと思う。コミバスについても利用者のニーズを拾って明確にすること

が重要。

3班

ファシリテーター：渡辺浩二（芽室町役場）

オブザーバー：谷口弘幸（株式会社谷口運輸代表取締役）

委員：8名

ファ：町外に行く時の強みですとか、こうなったら利便性がよくなるなどか、今の強みをもっとこうしたら清水のためによくなるのではというような、主に外に向かうときの交通の強みなどを話し合えればと思います。まずは話題出しということで付箋に書いていただいて、議論を深めていけたらと思います。清水の交通に対して思うところを書いて頂ければと思います。

（5分間記入の時間）

メ①：バス、JR、充実しているが、本数は少ないと思いますが利用はしやすい。

本数が少ないので車で行ける十勝管内などは車を使ってしまう。帯広からの終電が早いのと本数がもう少しあるといいなという話は友達との間でよく話しに出ている。あと特急が止まらない便もあるので時間帯が課題。駅のホームが階段使わなければならないので小さい子どもがいる方や高齢者の方は不便だと思う。エレベーターなどでホームに行きやすくなるといいなと思う。

メ②：高速ができて家族皆で出かける事が多くなった。ただ、冬は道路が怖いのでJRやバスを利用するのですが、JRが止まってもバスがあったりで何かで帰ってこれる安心感があります。JRもおおぞらは止まらないがとがちが止まるので札幌に行くには不便ではなくていいと感じている。釧路の方はもっと不便ではないだろうかと思います。

メ③：左手を手術して1ヵ月半入院したのですが、開西病院にリハビリで週3回通院するのに車でどうにか通院した。駅から病院に行くのが大変なので車でどうにか行った。JRだと降りてからが困る。

メ④：台風があってから高速を使うようになった。清水から夕張までで下道と1時間違うのは大きい。国道沿いにインターがあるのは良い。札幌、旭川なども3時間以内で行けて大抵の場所は日帰りができる位置にある。高速バスは安いし冬場はJRが止まっても走ってくれて、目的地まで行ける安心感がある。高速インターの利用数多いが、トラックも多いので一車線なのが事故に繋がる不安があります。早く2車線化を実現してほしい。

メ⑤：高速は運転しないのでわからないが、高速バスはいい。JRも通っていていいし階段があったり、最終が早いけれど、あるだけ恵まれていると思う。

メ⑥：帯広病院に車で通っているが、運転しなくなったらと考える。JRよりもバスが昔のように走っていたらと思う。仕事するには便利。苫小牧、室蘭、駆使を、北見など行きやすい。高規格道路は現在のまま無料で本別、大樹までそのままだと嬉しい。便利に感じている。商売

するにはとてもいい。

メ⑦：国道、高速があり札幌も仕事も遊びも日帰りできる範囲が広くていい。車がなくてもJR、バスがあり一定程度出かけられるのがいい。JR本線が通っていない所から見るとうちの町は恵まれていると思う。清水の観光地に行く人はJR降りてからレンタカーで移動できるなどだと利便性が上がるのではと思う。

メ⑧：せっかくある有効な交通手段だが通過され生かされていない。道の駅があると立ち寄ってくれる機会があるのでは。釧路、根室からだ今までから2時間短縮で便利になった。通過される町ではなく立ち寄ってもらえる町づくりが大切だと思う。

ファ：アクセスがいいということは強みだという話もありました。運輸業をされている谷口さんに来て頂いているのでお話をいただければと思います。

オ：高速、JR、バス利用者側からの話を聞いていたが、経営者側から言わせてもらおうと時間や料金も事業者はギリギリで運行していると思う。音更町～仁木町間をトレーラーが365日運行しているが、行きは高速を使っていてトレーラーは10,000円かかります。でも、ドライバーのリスクを考えてあえて高速を使っている。事故があると元も子もない。深夜割で利用はしているが、最終JRは清水、新得で乗る人がどれだけいるかを考えるとしかたないのかなと思う。北海道の中心にあるのはメリットだと感じます。

ファ：立ち寄る可能性がある場所だと思う。

メ⑥：運賃が上がってきていて小さな物を扱ってくれなくなっている。

オ：うちで言うと運送単位、拠点から拠点を結ぶ車1台、宅配の人がいないのは問題になっている。

ファ：生活の部分、立ち寄る観光、飲んで帰れる便利さなど、こうなったらいいと思うことがあればお願いします。

メ①：道の駅は町としても難しかったからできなかったんだと思う。清水公園をきれいにするとか、郷土史料館など魅力発信できるように感じていて、いまひとつ工夫しきれていない気がする。コンビニじゃなくて町の魅力がわかる場所があればいいなと思う。

メ②～清水が目的ならいいが、帯広や札幌に向かう人だと清水を通過する時はお店がやっていない時間に通る。それで清水何もないと言われてしまうのではないかと思う。勝毎花火大会の時には3時に蕎麦を食べたいという人が来る。目的の時間がズレてしまっているからではないか。道の駅を作ったところで留まってくれる人がいるかは疑問。

ファ：利用者の時間帯と町の時間帯のギャップですね。

オ：道の駅があったとして、何を求めるのか。コンビニも変わりのようなものであればコンビニでいい。立ち寄りたい何かがあれば意味が無い。

メ②：長沼の道の駅は今全然人がいない。トイレに立ち寄るだけで年間通してと考えると難しい。作るならインターチェンジすぐに。占冠も一緒、あったらいいかもしれないけど、長い目で見ると難しいと思う。病院のバスをPRしてはどうかと思う。

メ③：病院のバスはリハビリでは利用できなくて落ち込みました。

ファ：今車を運転していても、免許返納したときの交通手段が問題になってくると思う。駅からの二次交通がどうあれば、どういう手段があれば安心か。

オ：前田クリニック、新得に迎えに行き送っていると聞いている。

メ⑥：元々道の駅は何のためにあるか、清水は早い時期にドライブインがあったから必要がなかった。今はコンビニができて意味が変わってきた。なので、目的を確かにしないとかならないと思う。

オ：7、8年前くらいにトラックステーションを清水に作ろうという話があった。ただ、札幌、苫小牧にあるのだが、作って利用する人が果たしているかと考え計画で終わった。

メ⑥：トラックの待機場所はどこなのでしょう。

オ：十勝の場合はどこでも大丈夫。内地では止まるところがない。

メ⑧もしもあったらと考えると、地場産品が増えてきたので、今だと売れる物がそこそこあると思う。誰が運営するのが問題だと思う。

メ⑦道の駅の話は昔からあったが、24時間車が駐車できてというのがあった。御影のセイコーマートによく止まっていると、よりみち情報館、コンビニに止まっている。そうすると他の町のように特産品が変えるのは魅力だが、今の時代ネットでもどこでも取り寄せられるとなると、たまたま寄った人はいるが、それを求めて来る人は少ないのではと思う。そうすると人件費を出すのも難しいのではないかと思う。

ファ：道の駅には色々な思いはあるが、話題として取り上げるべきだと思います。医療の交通の課題について、地域に個人でできることなどアイデアがあれば。

メ①：病院の送迎はあるけど歯科はない。農家の方は時間的に冬に行けるようになるが、道が危ないので、医療版のバスがあればいいなと思う。

メ②：予約ではなくすぐ行きたいしすぐ帰りたい。病気の時には突然なので行きたい時にすぐ行けるものがあればいいと思う。

メ⑤：病院の送り迎えで帯広のキノシタ眼科に通っている。リハビリは乗車できないというのは知らなかった。

メ⑥：タクシーのように使えるものがあればいいがこまめな対応が難しい。光ケーブルがないので配車管理ができない。農村部にも光ケーブルを入れて欲しい。

オ：白タクの営業許可が取りやすくなればいいのだが。隣の婆ちゃん乗せてあげるとしても、100円ぐらいであれば頼む方も頼まれる方も気兼ねなくできるのでは。

メ⑧：不便だった昔ほど近所での助け合いがあったと思う。

メ④：高速インターチェンジはこれだけ乗り降りがあるので、何か使えるのではないかと思う。国道に近いのは強みだと思う。

全体会

コ：各班で出てきた意見を共有していきたい。

(各班より代表者発表)

【第1班「道東の玄関口の活かし方」】

- メ②：・清水町の経済に、宿泊施設を建設することで町内の商売が潤う仕組みがあるといい。
・交通アクセスが良くなったことで昔よりもお客さんが減っていることを受け止めて政策を考えるべき。
・清水町は情報発信が上手くいっていない。発信する機関を役場がやるのか観光協会がやるのかを決めて、イベント等の情報発信を計画的に進めたほうが良い。
・清水公園の活用方法として、SNSの活用した写真の拡散や、車中泊をする人達向けのサービスなど既にあるものを活用する政策があるといい。

【追加】メ②：先ほどお話できませんでしたが、道の駅については1班でも出てきました。清水町の立地を考えれば検討する余地はあるが、維持すると考えると既に道の駅がある町村の状況をみても赤字になることが多いのかと感じていました。しかし、相対的に見て黒字になれば良いという風に考えると雇用の創出にも繋がってくるのかという内容の話ができました。

【第2班「町内(福祉系)交通の利便性と弱み」】

- メ⑥：・清水町の町内における移動手段を再確認した。(バス・タクシー・列車・徒歩)
・御影地区では移動販売が来ているときがある。
・実際に利用することが予想される人達に聞き取りを行いニーズを捉えた事業となっている買い物・銀行バスのように、コミュニティバスについても町民のニーズを調査して欲しい。
・移動手段を整えても知らないと活用できないので、町内においても情報を拡散する必要がある。

【第3班「町外(観光、企業等)交通の利便性と弱み」】

- メ④：・清水町は町外への交通網が発達している（JR・国道・高速道路）
・終電の時間が早い。
・ホームの階段を何とかしてほしい。
・高速バスの停留所が御影地区にも清水地区にもあることはアクセスの良さといえる。
・北海道の主要的な地域に行くにも同じような時間で行くことができるという立地の良さがある。
・立地面では運送業において、中継地点として荷物の受け渡しや、休憩所としても活用されることが多い。
・道の駅を建てたとして、昔よりは配置できる物が増えていると思うが、担い手不足が問題となる。

コ：【1班】～道東の玄関口

- 何が清水町にあればいいかといった話の中で、宿泊施設は必要ということでもっと清水町に滞在してもらって、町内の経済をどうやって潤していくのかの話だったと思います。

その具体的な方法として民泊や車中泊に目を向けるといいのではないかとのことでした。しかし、民泊では規制が厳しいこともあるために行政のサポートが欲しい。

清水町は交通アクセスがよくなったことで通過型の町となってしまい、昔よりもお金が落ちなくなっている課題があります。しかし、そもそも交通アクセスの良さを含めて清水町の情報を発信できていないのではないかと。では誰が発信すると効果的なのかとなった時に、行政なのか観光協会なのか、または一般の方を巻き込んだSNSによる発信なのかを検討する必要があるのではないかとといった内容でした。

【2班】～町内(福祉系)の公共交通

- 自家用車以外に交通手段を考えたときに、鉄道・バス・タクシーがあることは知っているけれども、バスにしてもどのような種類のバスがあるのかを知らない町民も少なくないという話でした。しかし、清水町は先ほど町長からお話がありましたが、清水町はコミュニティバスやタクシー券等の公共交通に力を入れることで、交通弱者の方々でも不自由のない環境づくりをしています。しかし実際は今日の会議をきっかけに知ったという人も少なくないのではないのでしょうか。これを踏まえて、町内の公共交通についても先ほどと同様に情報を発信したほうが良いとのことでした。

【3班】～町外(観光、企業等)の公共交通

- 鉄道の最終時間は早く駅の跨線橋の階段が不便だが特急も停まるから便利であり、高速道路はICが町の中心から近いということで札幌も日帰りできるほどの利便性がある。これらは産業面でも大いに便利な部分であり、荷物の引継場所や休憩地点として立地が優れているとのことでした。1班ではなくて3班で「道の駅」の話がでたということで、昔よりも物が充実しているから運営できるのではないかと意見もあれば、物があっても担う人がいないことが予想されるためもう少し検討したほうが良いとのことでした。

【その他】

コ：3つの班全てにおいて「誰のため」なのかを考える必要性があるため、委員から意見徴集。

【小中学生】～小中学生の少年団活動や部活動の送迎を親が苦に思っているとのことだったので、町内外の交通網が発達することで子どもが自分で習い事ができたりする。

【小中学生】～これからの生活の中で「清水の住民が増えて欲しい」と思ってくれる子どもが増えて欲しい。そういった状況になるように考えるのが自分たちの年代だと思ふ。

【若い年代】～最近高齢者の運転によって命が奪われるような事件が起こるケースが多くなってきているため、公共交通機関を使うことでこういった事故は減ってくると思ふからです。A「今後もこのスローガンを掲げていったほうが良い」

コーディネーターより事務局へ確認

- ・現在コミュニティバスを利用している年代はどの年代か
→大半が65歳以上の方や免許返納した人達です。
- ・配られた資料の数字は延べ人数となっていますが、実人数はどの程度ですか。
→1年間に約20人ほどです。
- ・現在運行しているコミュニティバスに掛かる税金と助成を受けながらタクシーを利用するのに掛かる税金は、タクシーに乗っている方がかからないということで間違いありませんか。
→間違いありません。

コーディネーターより各班の委員へ質問

Q：コミュニティバスに関して他にどのような意見ありましたか。

A：町内を回送すればするほど時間は沢山掛かる。しかし、バスの座席は満員というわけではないことを踏まえて効率はよくない。これを踏まえて今年度から運行している買い物・銀行バスは好評とのことだったので、上手く融合して町民のニーズに対応していくことが重要になると話しました。

コ：町内の移動手段も一つというわけではないことを再確認した上で、町民皆が便利だと思えるようなバスはどういったものなのかを考えることが今後必要になってくることだと思います。

Q：町外の人が清水町に落とすお金の量はもっと増やせるという意見が多かったか

A：子育て世帯をターゲットとしたアスレチック施設や、車中泊のできるような設備を整備することで清水町の中をもっと楽しんでもらえると思います。

コ：普段から我々が生活している環境の中で、都会の人からすると大きな魅力になることはまだまだ多く存在しており、これをどうやって活用していくかがポイントとなっていると思います。

ファ：発信する人がその地域出身の人であることが重要となってくる。身近な人が魅力を見つけて発信することで他の地域に人にもその地域の良さが伝わる。これを他の業者が手を付けてしまうとただのビジネスとなってしまう。

【その他質問・意見】

Q：交通アクセスを考えたときに、今は観光の話が主となっていましたが、本質を考えると物流を視野に入れつつ生産性を向上することだと思います。そうすると町民の暮らしも豊かになり、交通アクセスの良さをもっと生きてくると思います。

A：運送業を営む中で要望としては、高速道路の料金がもっと安くなってくれば、運転手の身体状態を考慮して、できる限り高速道路を走行して目的地により早くつければその分身体も休ませることができる。

(改善提案シートの作成、作成後随時解散)

